

## 保健福祉事務所での「HIV（エイズ）検査」体制

（中讃保健所で即日検査をしています。）

「HIV（エイズ）検査」は現在、各保健所において、**無料、匿名**で、行っています。

「HIV（エイズ）検査」を受けることにより、感染者自身の早期発見、早期治療に有効だけでなく、感染の拡大を防止することもできます。感染が心配な方は、早めに検査を受けることをお勧めします。

また、各保健所及び薬務感染症対策課において、随時、相談を受け付けています。

### HIV（エイズ）検査日程表

検査は**予約制**ですので、あらかじめ検査を希望する保健所にお問い合わせ下さい。

保 健 所 名	検 査 日
小豆保健所 小豆郡土庄町湊崎甲2079-5 TEL:0879-62-1373	第2水曜日 午前中
東讃保健所 さぬき市津田町津田930番地2 （香川県大川合同庁舎内） TEL:0879-29-8261	第1木曜日 午前中
中讃保健所 丸亀市土器町東8丁目526 TEL:0877-24-9962	（即日検査） 第2・第4水曜日 午前中 （※場合により通常検査も実施）
西讃保健所 観音寺市坂本町7丁目3番18号 TEL:0875-25-2052	第3水曜日 午前・午後
高松市保健所 保健対策課 感染症対策室 高松市桜町1丁目10番27号 TEL:087-839-2870	月2回

※検査日は事情により、変更する場合がありますので、予約時に確認してください。

※検査は、感染の機会があつてから、**3ヶ月以上**たつてから受けなければ、正しい結果は得られません。

#### ◆どんな検査？

- 後天性免疫不全症候群(AIDS:エイズ)の原因になる HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染しているかどうかを調べる検査です。HIV に対する抗体が出来ているかどうかを調べ、HIV 感染を確認します。
- 5ml(小さじ一杯)ほどを採血し、血液検査を行います。
- HIV に感染している場合は、抗体が出来ているという意味で、「陽性(プラス)」という結果、感染していない場合は、抗体が出来ていないので、「陰性(マイナス)」という結果が出ます。
- 感染しても、すぐには抗体が出来ないので、検査を受けるタイミングは、感染の可能性のある機会があって **3 か月以上**たってから検査を受けてください。そこで「陰性」と出た場合は、感染していないと考えられます。

#### ◆通常検査とは？

- 従来、保健所などで行われてきた HIV 検査で、検査の結果(「陰性」「陽性」)は、一週間から 10 日後に出ます。
- 結果は、直接本人に面談の上お知らせします。

#### ◆即日(迅速)検査とは？

- 全ての検査結果が、即日が出るわけではありません。
- 即日検査では、「陰性」の場合のみ、同じ日に結果が出ます。
- HIVに感染していなくても、100人に1人は偽りの陽性を示すことがあります。その場合は、確認検査が必要となり(要確認検査)、通常検査と同じように、結果が一週間から 10 日後に出ます。

## エイズQ&A

Q:なぜ検査日を公表するのか？

A:診断時にすでにエイズを発症している事例もあり、早期発見のための検査を逃がしていることが、考えられる。

公表することにより、県民にHIVやエイズに対し関心を持ってもらいHIV検査の浸透・普及を図ることを目的としている。

Q:県内の患者数は何人か？

(H23. 12. 31 現在)

年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	計
HIV 感染者	0	1	0	0	0	2	0	2	2	1	1	0	4	2	1	3	7	0	4	4	34
AIDS 患者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3	3	4	2	4	1	2	4	27
合計	1	1	0	0	0	2	0	2	2	2	3	0	7	5	5	5	11	1	6	8	61

### 年齢別届出状況

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計
HIV感染者	0	0	3	15	6	8	1	1	34
AIDS患者	0	0	2	11	6	3	3	2	27
合計	0	0	5	26	12	11	4	3	61

### 男女別届出状況

	男性	女性	計
HIV感染者	28	6	34
AIDS患者	24	3	27
合計	52	9	61

Q. 県内の年間の検査件数はどれぐらいか？

A. 23年—379件 (H23. 12. 31 現在)

22年—394件

21年—591件

20年—648件

19年—531件

18年—326件

17年—274件

16年—261件

15年—225件

14年—170件

Q. 県ではどのような事業をしているのか？

- A. ・保健所において、相談・検査を実施  
・県内のエイズ拠点病院において、HIV検査を委託実施  
・各保健所においてエイズ講習会の開催  
・学校、市町成人式、エイズイベントなどでエイズ啓発資材(リーフレット)の配布  
・保健所医師、医療従事者をエイズ対策研修会へ派遣  
・エイズ対策協議会を開催し、エイズ対策の総合的な推進について協議を行う。

Q. 全国の状況はどうなっているのか？

- A. HIV感染者— 13, 667人  
AIDS患者— 6, 266人  
計 19, 933人 (H23. 12. 31 現在 : 速報値)  
\*全国的に感染の広がりを示唆している。